

心がゆれる 体がおどる 親子で一緒に楽しもう



豊かな感性を育むために

会長 荒木 尚子

音を含めた映像が生活の中に溢れ、現代の子どもたちは生まれた時から多くの刺激を受けています。むずかる赤ちゃんに電子画像を見せる保護者の姿も見かけます。「音」を「楽しむ」と書いて「音楽」です。楽しい音楽に触れると、子どもたちの心はウキウキしたり、思わず歌ったり、体を動かしたりして弾みます。弾んだ心は、豊かな表現、豊かな感性を育むのではないのでしょうか。

幼児期に心が弾む楽しい音楽に触れる経験を積むために幼稚園や家庭では、何を大切にすべきなのでしょう。本物に触れる機会はあるのか、苦手な分野は避けていないか等、課題も見えてきました。

アンケート調査結果をもとに音楽に親しむ生活や親子のかかわりの豊かな広がりを考えました。親子体験型キャンペーン研修会の成果を生かし、幼児期の音楽環境を見つめていきましょう。

最後になりますが本年度の事業推進にご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

事業名：音楽を通して、子どもの豊かな感性を育む調査研究
『心がゆれる 体がおどる 親子で一緒に楽しもう』

事業のねらい

子どもを取り囲む音楽に関する実態調査を行い、音楽を通じた良好な親子の触れ合いを広げ、子どもの感性を育むことをねらいとし、2年間の調査研究を行う。

1年次

幼稚園や家庭における幼児の音楽にかかわる実態や、家庭生活での親子のかかわりなどに関する実態調査を実施。親子のかかわり方の工夫等、実践化を促す全国キャンペーン研修会の実施。

2年次

幼児にとって望ましい親子のかかわりについて明らかにし、幼児の豊かな表現活動の在り方を探る。さらに実践内容・方法に工夫を重ね、実践化を促す全国キャンペーン研修会の実施。

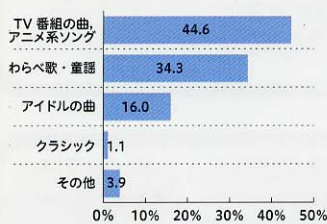
子どもの音楽に関する実態と意識についての調査

<調査実施期間：平成25年9月～10月 回答者数：保護者1,556名 教員506名>

調査結果から、幼児の実態、親子のかかわり、教員や保護者の意識の傾向について以下のように読み取りました。調査内容及び全ての集計結果・考察については、国公幼ホームページに掲載します。

子どもの実態 音楽への興味・関心 親しんでいる音楽・場所

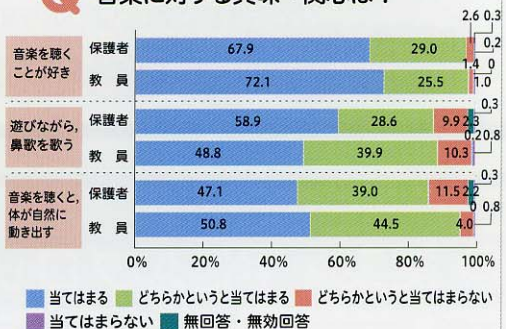
Q お子さんが親しんでいる音楽は？



Q 自宅以外で音楽に触れる機会は？



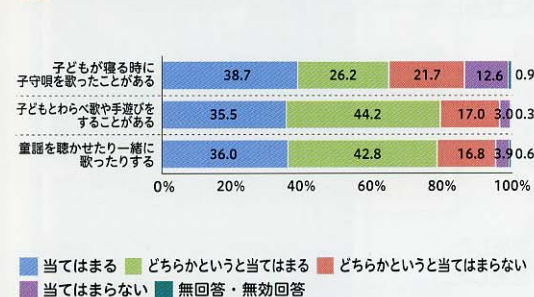
Q 音楽に対する興味・関心は？



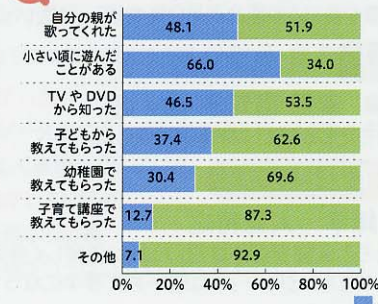
保護者と教員がとらえた子どもの実態に大きな差はない。子どもたちは音楽を好み、喜んで歌ったり踊ったりしている。子どもたちが親しんでいる音楽は、「TV番組の曲やアニメ系ソング」(44.6%)「わらべ歌・童謡」(34.3%)だった。自宅以外で音楽に触れる機会は、「自動車の中」(75.5%)が極めて多かった。少なかったのは「地域の音楽イベント」(7.7%)や「コンサート」(7.9%)で、生の音楽に触れる機会が少ない傾向が見られる。

保護者の実態 わらべ歌や童謡等を親子で楽しむ習慣と理由

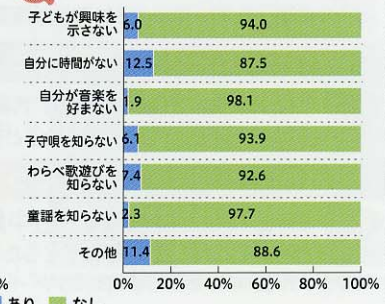
Q 親子のかかわりで、次のような習慣がありますか？



Q そのような習慣がある理由は？

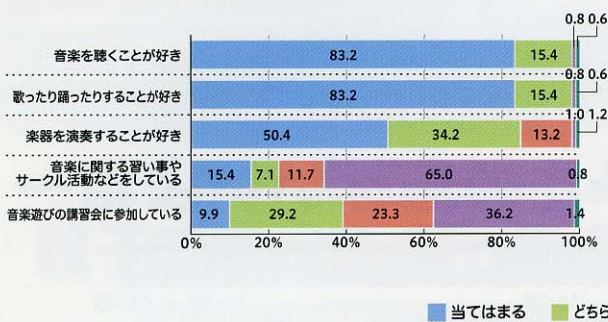


Q そのような習慣がない理由は？

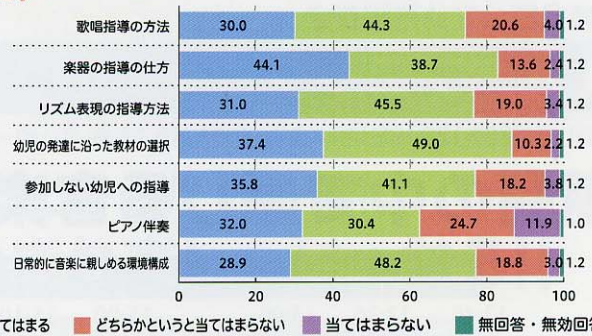


現在の生活では、わらべ歌や手遊び、童謡等に親しんでいる親子が8割近くいることが分かった。そのような習慣がある理由には、保護者自身の小さい頃の経験や親のかかわりも影響している。一方、習慣がない理由で多かったのは「時間がない」(12.5%)「わらべ歌遊びを知らない」(7.4%)だった。

Q あなたの現在についておたずねします。



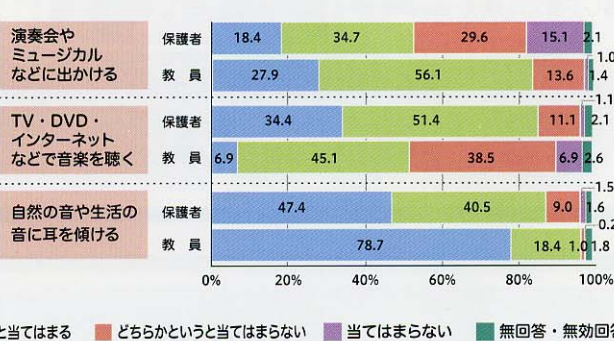
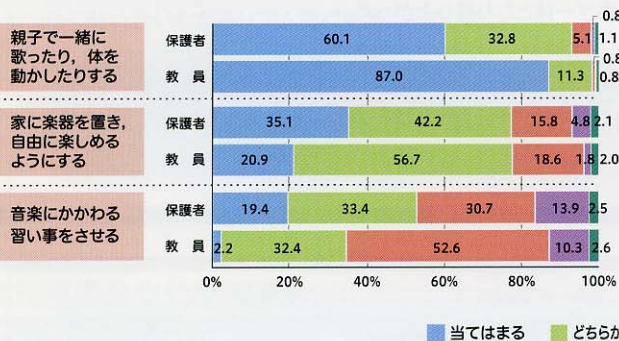
Q 音楽の指導について迷ったり悩んだりしますか？



教員は音楽を好む傾向はあるが、「音楽に関する習い事やサークル活動」「音楽遊びの講習会」への参加は少ない。音楽指導の迷いや悩みで多かったのは「楽器の指導の仕方」「発達に沿った教材の選択」だった。指導技術を向上させたり新しい教材を研究したりする機会に触れることが必要だと思われる。

保護者と教員の意識① 子どもが音楽に親しむために大切にしたいこと

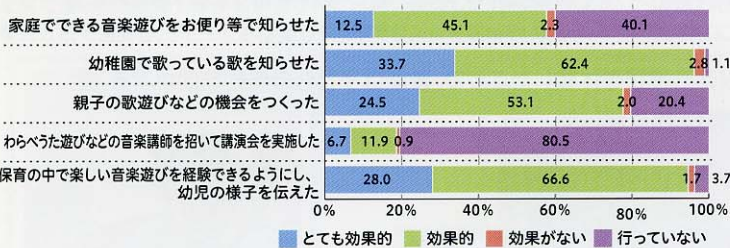
Q 幼児が音楽に親しむための保護者のかかわり方で大切なことは？



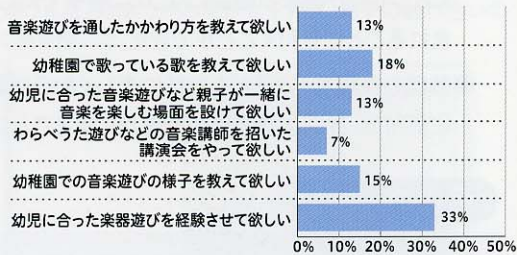
保護者と教員が共通に大切だと回答した中で多かったのは、「親子と一緒に歌ったり、体を動かしたりする」「自然の音や生活の音に耳を傾ける」だった。保護者と教員の回答で大きな差があったのは、「演奏会やミュージカルなどに出かける」「TV・DVD・インターネットなどで音楽を聴く」だった。

保護者と教員の意識② 幼稚園からの発信と幼稚園への期待

Q 保護者の関心を高める上で効果的でしたか？



Q 家庭で音楽に親しむために幼稚園に期待することは？



親子での音楽遊びは、90%の幼稚園で年間に複数回実施していた。音楽に対する保護者の関心を高める上で効果的だったのは「幼稚園で歌っている歌を知らせる」「楽しい音楽遊びを経験できるようにし幼児の様子を伝える」だった。「音楽講師を招いた講演会」「家庭でできる音楽遊びを便りで知らせる」は「行っていない」という回答が多く、新しい情報の提供や家庭でできることについての発信が少ないことが分かった。幼稚園に期待することでは「幼児に合った楽器遊びを経験させてほしい」が最も多かった。

音楽を通して豊かな感性を育むために

調査結果から、幼稚園や家庭、地域で音楽に親しむ生活をひろげていくために、以下の提言をする。

提言1 幼稚園生活の中で、音楽に親しみ感性を育む指導や援助の工夫をしよう。

- ▶ 思いのままに歌ったり踊ったり楽器を鳴らしたりして、音楽に親しみ表現の楽しさを味わえるように、援助や環境を工夫する。
- ▶ 友達同士や学級全体で歌や楽器遊びを楽しみ、みんなで表現する喜びを味わえるようにする。

やってみよう!



- 自由に楽器に触れるコーナーを作ろう!
- 廃材や身近な物を打楽器にして遊ぼう!
- みんなで歌う楽しさを知らせよう!
- 講習会や音楽に触れる研究会に参加しよう!



提言2 音楽の楽しさや大切さを保護者と共有し、親子のかかわりを広げよう。

- ▶ 保護者自身が、体験を通して、音楽の楽しさや大切さを味わえるようにする。
- ▶ 親子で音楽に親しむことで、豊かな感性が育ち、親子関係がより良くなっていくことを実感できるようにする。

やってみよう!



- 親子で楽しめる簡単な手作り楽器を作ろう!
- 寝る前にわらべ歌遊びや子守唄を歌おう!
- 登降園時に歩きながら歌おう!
- 幼稚園で歌っている歌や手遊びを知らせよう!



提言3 地域とのかかわりを広げ、親子で豊かな体験ができるようにしよう。

- ▶ 地域性を生かし、在園児親子や未就園児親子が様々な文化や音楽の楽しさに出合うことができるようにする。
- ▶ 地域の人と触れ合い、音楽を通して心が通い合う喜びを味わえるようにする。

やってみよう!



- 小さい頃から触れ合い遊びをする機会を作ろう!
- 地域の行事やお祭りへの参加を呼びかけよう!
- 幼稚園の行事に地域の方を招待しよう!
- 親子で生の歌や演奏を聴く機会を作ろう!



編集・執筆 特別事業推進委員

委員長	宮里 暁美	お茶の水女子大学附属幼稚園
副委員長	高橋 慶子	目黒区立みどりがおかこども園
委員	阿内三智子	足立区立鹿浜こども園
委員	渡辺 佳子	品川区立二葉幼稚園
委員	斉藤 悦子	浦安市立入船南幼稚園
国公幼会長	荒木 尚子	墨田区立緑幼稚園
同副会長	保戸田美恵子	浦安市立明海幼稚園
同事務局長	楚阪 博	国公幼事務局

特別事業ブロック委員

東北・北海道	板宮 成悦	金ヶ崎町立三ヶ尻幼稚園
関東・甲信越	西田 隆信	横須賀市立諏訪幼稚園
東海・北陸	徳橋 曜	富山大学人間発達科学附属幼稚園
近畿	畿 中田 章子	奈良市立認定こども園富雄南幼稚園
中国	河野 則子	下関市立江浦幼稚園
四国	山口真知子	橿原町立橿原幼稚園
九州	吉田 眞理	福岡教育大学附属幼稚園

発行日 平成26年3月10日
編集発行 全国国公立幼稚園長会 会長 荒木 尚子
住所 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-5-28 ナーベルお茶の水208

電話 03 (5684) 2240
FAX 03 (5684) 2174
E-mail entyukai@kokkoyo.com
ホームページ http://www.kokkoyo.com